



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月12日

上場会社名 株式会社 ホギメディカル  
 コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

(氏名) 保木 潤一  
 (氏名) 川久保 秀樹  
 TEL 03-6229-1300  
 配当支払開始予定日 2020年11月30日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,734	3.5	2,671	2.9	2,806	3.0	2,776	15.0
2020年3月期第2四半期	18,380	0.8	2,596	6.4	2,724	9.8	3,265	28.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,451百万円 (4.0%) 2020年3月期第2四半期 2,358百万円 (12.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	91.84	
2020年3月期第2四半期	108.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	105,699	95,410	90.2	3,152.36
2020年3月期	106,664	93,921	88.0	3,104.33

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 95,318百万円 2020年3月期 93,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	16.50	16.50	16.50	16.50	66.00
2021年3月期	17.00	17.00			
2021年3月期(予想)			17.00	17.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,310	2.5	5,490	3.4	5,930	2.4	4,980	9.9	164.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料10ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	32,682,310 株	2020年3月期	32,682,310 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	2,445,087 株	2020年3月期	2,460,787 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	30,228,126 株	2020年3月期2Q	30,196,594 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、依然として新型コロナウイルスが社会および経済に大きな影響を与えております。感染者数は増加を続けており、政府は感染拡大を阻止する対策を講じつつ、沈滞している経済活動を活性化するための政策を実行するなど、感染防止と景気回復の両立に苦慮しております。

医療業界におきましては、官民医一体となり、更なる感染拡大に備えた医療供給体制の整備に取り組んでいるものの、医療機関においては、予定入院・予定手術の延期や受診抑制による患者数の減少や新型コロナウイルス対応により業務量が増加したほか、施設整備や備品購入など院内での感染防止対策費用が増加したことも影響し、経営状況は益々厳しい状況が続いております。特に手術件数については、経時的に回復傾向にはあるものの、緩やかなスピードで推移し、新型コロナウイルスの影響を受ける以前の状態には戻っておりません。また、一時逼迫していた個人防護具などの一部の医療材料についても、徐々に需給バランスを取り戻してきましたが、完全に均衡するまでには至っておらず、お客様からの安定供給に対するご要望は強いまま推移しております。

このような環境の下、当企業集団では、全社員が感染拡大防止に努めつつ、お客様への製品の安定供給を通じて医療現場に貢献することを最優先に企業活動を行ってまいりました。販売活動においては、訪問自粛により活動を制限した第1四半期と比べ、第2四半期では新規販売活動は活発化しておりますが、医療機関での手術件数の回復スピードが緩やかなことなども影響し、手術用キット製品を中心に売上高が減少しました。そのうち、最重要戦略製品である「プレミアムキット」は、手術における安全性を確保しながら、術前の準備段階から、術中、術後までの業務を効率化できる付加価値の高い製品としてご評価をいただき、コロナ禍におきましても増収を確保いたしました。また、第1四半期にリニューアルした「プリコーションセット（感染防止製品のセット）」など感染防護製品の売上が増加いたしました。

この結果、当第2四半期累計の売上高は17,734百万円（前期比3.5%減）となりました。キット製品の売上高は10,193百万円（同8.7%減）となりましたが、そのうち「プレミアムキット」の売上高は5,207百万円（同5.4%増）となりました。また、売上原価は、償却費が減少したことなどから前期に比べ原価率が改善いたしました。販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための活動自粛の影響等により前期に比べ減少いたしました。この結果、営業利益は2,671百万円（同2.9%増）となりました。経常利益は、営業外収益において為替差益を計上したことなどから2,806百万円（同3.0%増）となりました。また、株式の一部売却による特別利益1,028百万円（前年同期は1,942百万円）を計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は2,776百万円（同15.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ964百万円減少し、105,699百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金1,211百万円の減少と、受取手形及び売掛金239百万円の増加、商品及び製品の524百万円の増加等により308百万円減少し42,920百万円となりました。固定資産のうち有形固定資産は、新キット工場Ⅱ期工事の設備投資等による建設仮勘定1,704百万円の増加、建物及び構築物の減価償却等による597百万円の減少、機械装置及び運搬具の減価償却等による830百万円の減少等により、170百万円増加し52,021百万円となりました。無形固定資産は、減価償却等による148百万円の減少により2,151百万円となりました。投資その他の資産は、所有する株式の売却等による投資有価証券528百万円の減少等により、677百万円減少し8,605百万円となりました。この結果、固定資産は62,778百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,454百万円減少し、10,288百万円となりました。流動負債は、未払金1,617百万円の減少、設備関係支払手形204百万円の減少等により、2,169百万円減少し8,191百万円となりました。固定負債は、長期借入金の流動負債への振替による175百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて284百万円減少し2,096百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,776百万円の計上による増加、剰余金の配当による1,014百万円の減少、所有する株式の売却等によるその他有価証券評価差額金94百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べて1,489百万円増加し95,410百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の88.0%から90.2%へ増加いたしました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより21,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,181百万円減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を3,833百万円、減価償却費を2,242百万円、投資有価証券売却益を1,028百万円計上し、たな卸資産の増加674百万円、未払消費税等の減少442百万円、法人税等の支払1,128百万円等がありました。これらの結果、キャッシュ・フローは2,363百万円となり、前年同期に比べ2,632百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入1,409百万円、新キット工場Ⅱ期工事の設備投資等による有形固定資産の取得による支出3,830百万円、無形固定資産の取得による支出104百万円等がありました。これらの結果、2,482百万円の支出となり、前年同期に比べ552百万円支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払1,014百万円、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)による長期借入金の返済による支出54百万円、自己株式の処分による収入53百万円がありました。この結果、1,015百万円の支出となり、前年同期に比べ29百万円支出が増加いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約8,200百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、約3,800百万円の支出を見込んでおります。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約2,000百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想については、2020年4月10日に発表した業績予想では、新型コロナウイルスによる影響が一定期間で収束すると仮定しておりましたが、医療機関への影響は10月時点でも依然として続いております。医療機関における手術件数は緩やかに回復しつつも、新型コロナウイルス発生前の状況へ戻るには時間を要する見通しとなったことに加え、医療機関による外部業者に対する訪問規制や活動内容に対する制約は当面続く想定していることに鑑み、通期連結業績予想を修正いたします。

売上高につきましては、手術件数減少に影響を受ける製品の売上高減少と、感染防護製品の需要増加の影響等を勘案しております。また、売上原価、販売費及び一般管理費に関しましては、売上高変更要因を加味しております。特別利益に関しましては、投資有価証券売却益を反映いたしました。その他変更箇所につきましては下表のとおりですが、詳細につきましては、本日(2020年10月12日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、当企業集団では、今後中長期にわたり、医療安全とお客様の業務の省力化に資する付加価値の高い製品を安定的にお届けすることを通じて、医療関係者の皆さまの「安全」と「安心」を確保し、医療の質の向上に貢献してまいります。国内においては、戦略製品の「プレミアムキット」を中心に、今後想定される診療報酬の引き締めや病床再編をはじめとする、お客様を取り巻くさまざまな環境変化に対応し、病院経営の効率化につながるソリューションを提供してまいります。

また、今後世界的にサプライチェーンリスクが露呈した感染防護製品については、これまで同様、不織布製品の国内トップメーカーの責任と役割を果たすべく安定的な供給を実現し、グローバルでの生産体制の整備・強化を行ってまいります。

新規事業である「R-SUD(単回医療機器再製造)」事業については、許可申請及び承認までのプロセスの迅速化を図ると同時に、販売プロセスの早期確立を図ってまいります。なお、当第2四半期期末時点での申請数は3件となったほか、8月には1件の承認を取得いたしました。

海外事業におきましては、事業を展開するASEAN(東南アジア諸国連合)諸国における新型コロナウイルスの感染状況および拡大防止に向けた対応はさまざまですが、シンガポールのホギメディカルアジアパシフィックP.T.E.L.T.D.及びP.T.ホギメディカルセールスインドネシアが、各国の主要病院へのキット製品及び不織布製品の販売を中心に積極的に活動してまいります。

2021年3月期の通期連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に 帰属する 当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想（A）	38,700	6,400	6,830	5,300	175 28
今回発表予想（B）	36,310	5,490	5,930	4,980	164 70
増減額（B－A）	△ 2,390	△ 910	△ 900	△ 320	—
増減率（%）	-6.2%	-14.2%	-13.2%	-6.0%	—
前期実績	37,232	5,307	5,791	5,529	183 07

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,377	22,166
受取手形及び売掛金	11,352	11,591
商品及び製品	3,823	4,348
仕掛品	366	405
原材料及び貯蔵品	3,678	3,755
その他	631	653
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	43,229	42,920
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,173	22,576
機械装置及び運搬具(純額)	8,765	7,934
土地	9,604	9,597
建設仮勘定	8,995	10,699
その他(純額)	1,311	1,213
有形固定資産合計	51,851	52,021
無形固定資産	2,300	2,151
投資その他の資産		
投資有価証券	7,941	7,412
その他	1,349	1,200
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	9,283	8,605
固定資産合計	63,434	62,778
資産合計	106,664	105,699
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,675	4,591
1年内返済予定の長期借入金	—	121
未払法人税等	1,060	1,089
引当金	466	517
その他	4,157	1,871
流動負債合計	10,360	8,191
固定負債		
長期借入金	175	—
退職給付に係る負債	468	415
その他	1,737	1,681
固定負債合計	2,381	2,096
負債合計	12,742	10,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	83,234	84,996
自己株式	△8,557	△8,505
株主資本合計	90,136	91,950
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,623	3,528
繰延ヘッジ損益	189	80
為替換算調整勘定	9	△150
退職給付に係る調整累計額	△141	△90
その他の包括利益累計額合計	3,681	3,368
非支配株主持分	103	92
純資産合計	93,921	95,410
負債純資産合計	106,664	105,699



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	18,380	17,734
売上原価	10,810	10,374
売上総利益	7,570	7,360
販売費及び一般管理費	4,973	4,689
営業利益	2,596	2,671
営業外収益		
受取利息	30	38
受取配当金	52	41
為替差益	16	24
その他	31	34
営業外収益合計	131	138
営業外費用		
支払利息	—	0
投資事業組合運用損	3	2
その他	0	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	2,724	2,806
特別利益		
固定資産売却益	1	—
投資有価証券売却益	1,942	1,028
特別利益合計	1,943	1,028
特別損失		
固定資産廃棄損	1	1
特別損失合計	1	1
税金等調整前四半期純利益	4,665	3,833
法人税等	1,415	1,068
四半期純利益	3,249	2,764
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,265	2,776

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	3,249	2,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△605	△94
繰延ヘッジ損益	△40	△108
為替換算調整勘定	△228	△160
退職給付に係る調整額	△17	51
その他の包括利益合計	△891	△312
四半期包括利益	2,358	2,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,373	2,463
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,665	3,833
減価償却費	2,586	2,242
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	△83	△79
支払利息	—	0
投資事業組合運用損益 (△は益)	3	2
為替差損益 (△は益)	△28	△14
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,942	△1,028
売上債権の増減額 (△は増加)	759	△251
たな卸資産の増減額 (△は増加)	319	△674
仕入債務の増減額 (△は減少)	△285	△74
その他	285	△542
小計	6,279	3,412
利息及び配当金の受取額	83	79
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△1,366	△1,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,996	2,363
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,147	△3,830
有形固定資産の売却による収入	1	—
無形固定資産の取得による支出	△189	△104
投資有価証券の取得による支出	△44	—
投資有価証券の売却による収入	2,356	1,409
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	0	—
その他	△10	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,035	△2,482
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△55	△54
自己株式の処分による収入	53	53
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△984	△1,014
財務活動によるキャッシュ・フロー	△986	△1,015
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	△46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	915	△1,181
現金及び現金同等物の期首残高	22,903	22,658
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	580	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,398	21,477

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。